

科目名	電力システム工学 Electrical Power System Engineering	科目コード	21372
-----	---	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年
担当教員	恒岡まさき（電気電子システム工学科）
区分・単位数	学修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30，演習0，実験0，その他0】
教科書	なし。
補助教材	高圧受電設備等設計・施工要領（オーム社）2002年：ISBN4-274-94293-7 長谷川他：電力系統工学（電気学会）2002年：ISBN4-88686-232-2
参考書	江間、甲斐：電力工学(コロナ社)2003年：ISBN4-339-01201-7

#### A．科目の概要と関連性】

本講義では送電電圧の安定化の基礎および周波数特性と連係系統，単位法について学ぶ。特に単位法の修得は本講義の最大の目的でもある。きちんと修得すること。

関連する科目：電気回路

#### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
単位法を修得する。	60%	d 2
電圧の安定法について理解する。	20%	d 1
周波数の安定法について理解する	20%	d 1

#### 【C．履修上の注意】

遅刻は正当な理由無き場合欠席とする。授業中に寝ている者、授業態度の悪い者、レポート未提出者、不出来・未完成レポート提出者は欠席扱いにする。講義毎のレポートは提出期限（授業開始前）を過ぎたら受理しない。再試・追試は行わない。

#### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（70%）

その他の試験（0%）

レポート（30%）

その他（0%）

【E．授業計画・内容】

前期（ 後期科目の場合は，書きかえ）

回	内容	課題
1	電気エネルギーの特徴と電力設備	電気エネルギーの特徴について述べよ。
2	需要と供給バランス	送電線の等価回路についてのべよ。
3	周波数制御のメカニズム	商用周波数が上下することは何を意味するか説明せよ。
4	連係した電力システムの周波数制御	周波数自動制御 AFC について説明せよ。
5	機器の容量と単位法	単位法の基本的考え方について述べよ。
6	変圧器と単位法	変圧器の等価回路について述べよ。
7	単位法（演習）	送電・配電主要構成について調べよ。
8	有効電力と無効電力	3相1回線送電線のインダクタンスと抵抗を求めよ。
9	電圧・無効電力調整	火力発電所の構成につて調べよ。
10	電力円線図と調相	配布するプリントによる演習 1． 単位法を用いて短絡電流を求めよ。
11	保護協調	同上 2． 単位法を用いて電圧変動率を求めよ。
12	対称座標法	フェランチ効果について調べよ。
13	対称座標法	電力用コンデンサについて調べよ。
14	演習問題	3相交流発電機の2線が地絡したとき地絡電流を求めよ。
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	送電線の雷サージ対策について調べよ。